

毎週、福島の除染活動状況をお伝えします。

福島市

清掃活動に石原環境大臣参加。

大勢の子どもたちの笑顔に、地域復興の第一歩を実感。



清掃活動の前に、石原環境大臣と一緒にパンジーをプランターに植える地元の子どもたち。小学生の男の子は 「植え方をわかりやすく説明してくれた」と、うれしそうに話した。



芝を張り替えた緑地や歩道のごみ拾いをする参加



4月6日の清掃活動には、子どもからご年配の方々 まで、約140人の地元町内会の皆さんが参加。

福島市の桜の名所のひとつ、約220本の桜が見事な 荒川桜づつみ河川公園において、4月6日、地元の八 木田・八木田第二・仁井田町内会合同による清掃活 動が行われました。

同公園では、子どもたちがより安心して遊べるよ う、まず、地元の住民の方々が自発的な活動として 福島県による線量低減化活動支援事業の補助を受け て、除染を行いました。その後、市による除染を昨 年12月に終え、放射線量が大幅に下がりました。今 回の清掃活動は、桜の見頃の前に、より多くの市民 や観光客に花見を楽しんでもらいたいと実施されま した。

環境省の、このような地域の復興に向けた取組を 後押しする活動「環境省ふくしま復興サポーター」 を始めました。その第1回目の活動として、石原環 境大臣をはじめ環境省職員がこの清掃活動に参加し 三町内会の約140人の方々とともに、公園内のごみ 拾いや遊具の拭き掃除を行いました。

また、清掃活動の後には「ふくしまのこれからを 考える座談会」が開催され、石原環境大臣を囲んで 平澤久八木田第二町内会長をはじめ自治体や各団体 の関係者が復興に向けての取組など、活発に意見を 交わしました。

石原環境大臣は、「福島県では市町村や住民の 方々の協力により除染が進み、復興に向けて新たな 一歩を踏み出す地域も見られるようになってきたこ とを、今回改めて実感した。清掃活動に参加した大 勢の子どもたちの笑顔が、この地域の復興を物語っ ていた」と話しました。平澤さんは、「花見に限ら ず、この公園に多くの方々が来てくれるように、今 後も町内会の皆さんと一緒に地元の再生に向けた活 動に取組んでいく」と話されました。

清掃活動の翌週、桜が満開となった同公園には大 勢の花見客が訪れました。また、5月11日には、同 公園で福島市主催の「荒川フェスティバル」が盛大 に開催されます。地元町内会の方々は、その準備を 進めながら、来月のイベントを心待ちにしています。

環境省は、今後も福島の復興に向けた地域の活動 を応援していきます。